

## 作業部会【おおむね6ヶ月未満】

勢渡 基子（二宮幼稚園教諭）

可児 昌恵（東津山保育園主任）



仁木 彰子（高野保育園保育士）

小林 正佳（久米保育所 所長）

松永 光代（津山乳児保育園主任）

おもな発達の特徴 おおむね 6 ヶ月未満



睡眠時  
SIDSの  
予防

理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○首がすわる。</li> <li>○寝返り、腹ばいになる。</li> <li>○上下左右に動くものを追視する。</li> <li>○目の前の物をつかもうとする。</li> <li>○手に触れたものを握る。</li> </ul>
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空腹になると、泣いてミルクをほしがる。</li> <li>○おしめが汚れていると、泣いて知らせる。</li> <li>○4ヶ月頃から、昼と夜の睡眠パターンができる。</li> </ul>
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	<p style="text-align: center;">愛着関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特定の大人にあやしてもらおうと、顔をじっと見たり、声を出して笑ったりする。</li> <li>○特定の大人とのスキンシップを喜ぶ。</li> </ul> <p style="text-align: center;">だっこだいすき</p>
	環境	好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りの物を見たり、音を聞いたり、触れたりする。</li> </ul>
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力 など	<p style="text-align: center;">アー アー ウー ウー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機嫌の良い時に、人や物に反応して、「アーアー」「ウーウー」など喃語を発する。</li> </ul>
	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○快・不快を笑ったり泣いたりして、表情の変化や体の動きで表現する。</li> </ul>

おおむね6ヶ月未満 2ヶ月～3ヶ月頃

<p>発達の 子どもの 主な姿 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空腹になったり、おむつが汚れたりすると、泣いて知らせる。</li> <li>・一日のうち、睡眠と目覚めを何度も繰り返し、だんだん目を覚ます時間が長くなる。</li> <li>・1～2ヶ月の赤ちゃんは、原始反射といわれる、ピクと動く驚愕運動や口唇探索反射、吸つき反射が見られる。2ヶ月すぎると消失する。</li> <li>・2か月頃、大人があやすと、「あ～・う～」などクーイングを言ったり、上下、左右に動く物を追視したりする。</li> <li>・首がすわりつつあり、腹ばいになると、手をつき、体を支えている。</li> <li>・保育者の声や顔を覚えて、反応しつつある。</li> <li>・機嫌の良い時に「あー、うー、おー」などの喃語を言う。</li> <li>・物音に敏感で、寝ていても目が覚めて、泣いたりする。</li> <li>・話し声が聞こえたり、近くを歩いたりすると、そちらの方へ頭を向けて追視する。</li> <li>・保育者が話かけたりするとじっと見つめたり、保育者の姿を追うように目や首、体を動かしている</li> <li>・手を口に持っていったり、指を口に入れようとする。</li> <li>・だっこすると安心して機嫌よくなる。</li> <li>・だっこやおんぶをしないと眠らない子どもがいる。</li> </ul>										
<p>養育 (おんがら い)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の保育者とふれあいながら安心して過ごす。</li> <li>・あやしたり、優しく語りかけたりして、見たり聞いたりする感覚を豊かにする。</li> <li>・一人一人の生活リズムを大切に、生理的要求を満たし、安心して安全に過ごせるようにする。</li> </ul>										
<p>経験させたい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="255 683 319 851"> <p>健康な 心と体</p> </td> <td data-bbox="319 683 1436 851"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹いっぱいミルクを飲み、安心して眠り、心地よい生活リズムで過ごす。</li> <li>・沐浴をしたり顔や手を拭いてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>・優しく声をかけてもらいながら、おむつ交換をしてもらい、気持ちよさを感じる。</li> <li>・腹ばいや左右の足を交互に軽く屈伸させたり、両手を上にあげ半円を描くなど、赤ちゃん体操をしてもらい、体を動かす心地よさを感じる。</li> <li>・一人一人の不安な気持ちを受け止め、かかわってもらい安心して過ごす。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 851 319 940"> <p>人間 関係</p> </td> <td data-bbox="319 851 1436 940"> <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の保育者に親しく声をかけてもらったり、スキンシップをしてもらったりして、心地良さを感じる。</li> <li>・抱っこしてもらい、ゆったりとした揺れを感じながら安心して過ごす。</li> <li>・「いいいいいいばあ」などのふれあい遊びをしてもらい、保育者とのかかわりを喜ぶ。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 940 319 1086"> <p>自信と 信頼</p> </td> <td data-bbox="319 940 1436 1086"> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抱っこ・腹ばい・支えられて座るなど、体位を変えてもらうことで、視野が広がり周囲に関心を示す。</li> <li>・天気のよい日は、日光浴や外気浴をし、心地良さを感じる。</li> <li>・目の前のおもちゃをつかもうとする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1086 319 1209"> <p>命と 自然</p> </td> <td data-bbox="319 1086 1436 1209"> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体に優しく触れてもらったり、語りかけてもらったりして喃語を発する。</li> <li>・名前を呼んでもらったり、ゆったりと抱いてもらうことを喜ぶ。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1209 319 1332"> <p>豊かな 情緒</p> </td> <td data-bbox="319 1209 1436 1332"> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快・不快の気持ちの表現に伝えてもらうことで、感情が豊かになる。</li> <li>・動くものや音の出るものを目で追ったり耳で聞いたりして喜ぶ。</li> <li>・手のひらにふれたものは何でも握り、少しの間握って遊ぶ。</li> <li>・口に入れたりなめたりして、物の形を確かめる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>健康な 心と体</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹いっぱいミルクを飲み、安心して眠り、心地よい生活リズムで過ごす。</li> <li>・沐浴をしたり顔や手を拭いてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>・優しく声をかけてもらいながら、おむつ交換をしてもらい、気持ちよさを感じる。</li> <li>・腹ばいや左右の足を交互に軽く屈伸させたり、両手を上にあげ半円を描くなど、赤ちゃん体操をしてもらい、体を動かす心地よさを感じる。</li> <li>・一人一人の不安な気持ちを受け止め、かかわってもらい安心して過ごす。</li> </ul>	<p>人間 関係</p>	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の保育者に親しく声をかけてもらったり、スキンシップをしてもらったりして、心地良さを感じる。</li> <li>・抱っこしてもらい、ゆったりとした揺れを感じながら安心して過ごす。</li> <li>・「いいいいいいばあ」などのふれあい遊びをしてもらい、保育者とのかかわりを喜ぶ。</li> </ul>	<p>自信と 信頼</p>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抱っこ・腹ばい・支えられて座るなど、体位を変えてもらうことで、視野が広がり周囲に関心を示す。</li> <li>・天気のよい日は、日光浴や外気浴をし、心地良さを感じる。</li> <li>・目の前のおもちゃをつかもうとする。</li> </ul>	<p>命と 自然</p>	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体に優しく触れてもらったり、語りかけてもらったりして喃語を発する。</li> <li>・名前を呼んでもらったり、ゆったりと抱いてもらうことを喜ぶ。</li> </ul>	<p>豊かな 情緒</p>	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快・不快の気持ちの表現に伝えてもらうことで、感情が豊かになる。</li> <li>・動くものや音の出るものを目で追ったり耳で聞いたりして喜ぶ。</li> <li>・手のひらにふれたものは何でも握り、少しの間握って遊ぶ。</li> <li>・口に入れたりなめたりして、物の形を確かめる。</li> </ul>
<p>健康な 心と体</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹いっぱいミルクを飲み、安心して眠り、心地よい生活リズムで過ごす。</li> <li>・沐浴をしたり顔や手を拭いてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>・優しく声をかけてもらいながら、おむつ交換をしてもらい、気持ちよさを感じる。</li> <li>・腹ばいや左右の足を交互に軽く屈伸させたり、両手を上にあげ半円を描くなど、赤ちゃん体操をしてもらい、体を動かす心地よさを感じる。</li> <li>・一人一人の不安な気持ちを受け止め、かかわってもらい安心して過ごす。</li> </ul>										
<p>人間 関係</p>	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の保育者に親しく声をかけてもらったり、スキンシップをしてもらったりして、心地良さを感じる。</li> <li>・抱っこしてもらい、ゆったりとした揺れを感じながら安心して過ごす。</li> <li>・「いいいいいいばあ」などのふれあい遊びをしてもらい、保育者とのかかわりを喜ぶ。</li> </ul>										
<p>自信と 信頼</p>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抱っこ・腹ばい・支えられて座るなど、体位を変えてもらうことで、視野が広がり周囲に関心を示す。</li> <li>・天気のよい日は、日光浴や外気浴をし、心地良さを感じる。</li> <li>・目の前のおもちゃをつかもうとする。</li> </ul>										
<p>命と 自然</p>	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体に優しく触れてもらったり、語りかけてもらったりして喃語を発する。</li> <li>・名前を呼んでもらったり、ゆったりと抱いてもらうことを喜ぶ。</li> </ul>										
<p>豊かな 情緒</p>	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快・不快の気持ちの表現に伝えてもらうことで、感情が豊かになる。</li> <li>・動くものや音の出るものを目で追ったり耳で聞いたりして喜ぶ。</li> <li>・手のひらにふれたものは何でも握り、少しの間握って遊ぶ。</li> <li>・口に入れたりなめたりして、物の形を確かめる。</li> </ul>										
<p>環境 構成と 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に十分かかわりながら、安心して過ごせるように環境を整える。</li> <li>・色彩や光量に配慮し、調節していく。</li> <li>・情緒的・身体的な発達に合わせて環境を整えながら発達を助長させていく。</li> <li>・室内の温度・換気・明るさ、ベッドの配置などに配慮し、快適な中で過ごせるようにする。</li> <li>・保育室や使用する遊具や用具を清潔にし、衛生的な環境にする。</li> <li>・見る・聞く・体を動かすなどの楽しさを伝えるために、揺れて動くおもちゃや、音の出るもの、メリーなどを用意する。</li> <li>・見る、聞く、触れるなどの経験が豊かになるように、安全な遊具を提供し、さまざまな感覚が楽しめるようにする。</li> <li>・健康状態を把握し、異常を早期発見し、適切に対応していく。</li> <li>・個々の健康状態や家庭での生活について知り、食欲・睡眠など保護者と確認し合い、一人一人に応じたかかわりをする。</li> <li>・授乳は、ゆったりとした気持ちで目を合わせながら、一人一人の速さに合わせて、ゆっくりと落ち着いて飲めるようにする。</li> <li>・睡眠にあたっては、保育室から離れることなく、環境条件や寝具のかけ方に注意するとともに、呼吸や顔色、嘔吐の有無など、睡眠時の状態をきめ細かに観察し、記録する。また、SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防をする。</li> <li>・抱いたりあやしたりして相手となり、情緒や運動機能の発達を促す。</li> <li>・子どもが泣いて訴える時には、すぐに対応することで信頼関係を築くとともに、スキンシップを図る。</li> <li>・保育者は、豊かな表情で微笑みかけ、子どもの発した喃語にゆったりと語りかけるようにし、一対一のかかわりを大切にする。</li> <li>・声や仕草、動き等、発する欲求を察知してタイミングよく答え、言葉にしてあやす。</li> </ul>										
<p>家庭・ 地域との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な環境と家庭との一貫した生活リズムの中で、安心して園生活が過ごせるようにする。</li> <li>・直接話をする時間を作ったり、連絡帳で伝えたりして、家庭との連絡を密にとり、信頼関係を築く。</li> <li>・子育ての大変さを共感したり、理解したりしながら、保護者自身が子育ての喜びを感じられるようにする。</li> <li>・お迎えの時には、必ず一言添え、安心感を与えるようにする。</li> <li>・乳児連絡帳に子どもの記録を丁寧に書きとめ、園と家庭とが、子どもの育ちについて見通しがもてるようにする。</li> <li>・地域の方に、話や写真などで情報を開示して、関心をもってもらう。</li> <li>・SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防についてなど、子育てに関する情報を提供する。</li> </ul>										

おおむね6ヶ月未満 4ヶ月～5ヶ月

発達 こと の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眠っている時と目覚めている時がはっきり分かれ、生活のリズムが一定になり、夜と昼の睡眠パターンができる。</li> <li>・空腹や眠い時は、泣いたりぐずったりして知らせる。</li> <li>・首がすわり、うつぶせにすると両手で支え上半身をそらす。</li> <li>・寝返りをしようとする。</li> <li>・哺乳量が一定し、授乳時間がほぼ決まってくる。</li> <li>・家庭では、離乳食（1回食）（つぶものやどろどろのおかゆ状のもの）を食べ始める。</li> <li>・人や玩具に向かって喃語で盛んに話しかけるようになり、動くものを目で追ったり、あやしてもらえると声をだして笑ったりする。また、目が合うと、相手にほほ笑みかけたり、声を出して笑ったりする。</li> <li>・手につかんだものを握り、離すのは苦手で、落とすように手から離す。</li> <li>・「いないいないばあー」などのふれあい遊びをしてもらい、喜んで笑う。</li> </ul>	
（教育・養育）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の保育者とふれあいながら安心して、機嫌よく過ごす。</li> <li>・安全で活動しやすい環境の下で、寝返りや腹ばいなど、運動的な活動を促す。</li> <li>・一人一人の生活リズムに応じて、食欲・睡眠・排泄などの生理的欲求を満たし、快適に過ごせるようにする。</li> <li>・ゆったりとした雰囲気の中で、一人一人の子どもの依存欲求を満たして、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳、食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭いてもらいきれいになった心地よさを感じる。</li> <li>・一人一人の欲求に応じて、授乳したり、おしめ替えをしてもらったり、気持ちよさを感じたりする。</li> <li>・おんぶやだっこをしてもらったり、側にいてもらったりして安心して眠る。</li> <li>・体調のよい時に沐浴をもらい、心地よさを感じる。</li> <li>・機嫌のよい時は腹ばいになって遊んだり、寝返りをしようとして体を動かしたりする。</li> <li>・赤ちゃんマッサージをもらいながら、立てて抱かれたり、仰向けからうつ伏せになったり、ひざのうえに座らせてもらったりなど、やさしく体位を変えてもらい、全身の動きを楽しむ。</li> </ul>
	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しく語りかけてもらったり、目を合わせて泣き声や喃語に応えてもらったりすることで、保育者とのかかわりを喜ぶ。</li> <li>・特定の保育者とのスキンシップを楽しみ心地よくなる。</li> <li>・おしめ交換時など声をかけてもらい、自分のこれからの行動を予測するようになっていく。</li> </ul>
	自信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に合わせて短時間の外気浴をし、気持ちよく過ごす。</li> <li>・毎日同じ場所で遊んだり授乳してもらい、安心して過ごす。</li> <li>・保育者に見守られながら、聞いたり見たり触れたりする。</li> </ul>
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しく声かけをもらったり、あやされたり名前を呼んでもらい喜ぶ。</li> <li>・大人の語りかけに対して、喃語で応えたり、声をだして笑ったりする。</li> </ul>
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の保育者とのかかわりの中で、快、不快などの心の動きを表情や泣き声で表す。</li> <li>・自分で見つけたものを視線や声で伝えようとする。</li> <li>・握る、つかむ、しゃぶるなどの動きを十分にさせる。</li> <li>・保育者にいろいろな歌を歌ってもらいながら、楽しい雰囲気を楽しむ。</li> </ul>
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に十分かかわりながら、安心して過ごせるように環境を整える。</li> <li>・情緒的・身体的な発達に合わせて環境を整えながら、発達を助長させていく。</li> <li>・室内の温度・換気・色彩・明るさ・ベッドの配置などに配慮し、快適な環境を整える。</li> <li>・保育室や使用する遊具用具を清潔にし、衛生的な環境を整える。</li> <li>・見る・聞く・体を動かすなどの楽しさを伝えるために、揺れて動くおもちゃや音の出るもの、メリーなどを用意する。</li> <li>・健康状態を把握し、異常を早期発見し、適切に対応していく。</li> <li>・授乳はゆったりとした気持ちで、目を合わせてゆっくりと落ち着いて飲めるようにする。</li> <li>・睡眠にあたっては、保育室から離れることなく、環境条件や寝具のかけ方に注意すると共に呼吸や顔色、嘔吐の有無など睡眠時の状態をきめ細やかに観察し記録する。また、乳幼児突然死症候群の予防をする。</li> <li>・特定の保育者が、抱いたり微笑みかけたりして、甘えなどの依存欲求を満たし、ゆっくりかかわり愛着心を育んだり、運動機能の発達を促す。</li> <li>・子どもが泣いて訴える時には、すぐに応えることで信頼関係を築く。</li> <li>・保育者は、豊かな表情で微笑みかけ、子どもの発した喃語にゆったりと話しかけるようにし、一対一のかかわりを大切にしている。</li> <li>・クッションを使って腹這いの姿勢を楽しんだり、寝返ろうとする力を十分に発揮できるよう、子どもの状態に合わせて援助していく。</li> <li>・身近な人とそうでない人の顔がわかるようになる時期なので、なるべく担当の保育者がかかわりをもつようにし、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・身近にいろいろなおもちゃを置き、振ったり握らせたりして興味をもてるようにし、目と手の協応を促す。</li> <li>・わらべうた、ふれあい遊び（おはしゃぎ遊び）などでスキンシップを大切に、保育者との親しみが深まるようにする。</li> <li>・子どもの出すサインや表現を見逃さず、さまざまな欲求を適切に満たし、子どもとの信頼関係を築くようにする。</li> </ul>	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種の時期やスケジュールなどについて知らせ合い、共有する。</li> <li>・子育ての悩みや問題などに対して、情報提供や相談などの支援をしていくようにする。</li> <li>・園でふれあい遊びをした様子を伝えたり、参観日などでふれあい遊びの機会をもち、家庭でも親子で遊ぶヒントとなるようなかかわり方を知らせていく。</li> <li>・保育者は、保護者の悩みを受け止め、共感したり子どもの成長の様子を喜び合ったりして、育児へのエネルギーになるようにする。</li> </ul>	